

芝浦建築会主催「坂倉建築研究所展」

坂倉準三から受け継がれる精神

《 une maison est une machine à habiter 》「家は住むための機械なり」

1923 年 《 Vers une architecture 》「建築をめざして」

ル・コルビュジェのこの有名な一節は、装飾的な要素を排除し、機能性を重視した合理的な建築=モダニズムを示す理念として、広く認知されています。

しかし、ル・コルビュジェの下で建築を学んだ坂倉準三は、この一節に対して、建築は「機械」だということではなく、その機械のうちに「住む」ものが「人間」であるという点こそが、この言葉の示す真意だと記しています。

そこには建築は様式や流派ではなく、何よりも生きた人間のためにあるべきだという坂倉の思想が強く現れています。

この「人間のための建築」という精神は、坂倉準三から、坂倉と設計を共にした所員を経て、今日まで脈々と受け継がれてきました。

本展示では、坂倉準三が初めて手掛けた 1937 年のパリ万国博覧会日本館から、所長を含む 9 名の芝浦 OB が手掛けた近作までを紹介することで、坂倉準三から受け継がれる精神を、現役学生や卒業生の方に感じ取っていただければと思います。

記

「坂倉建築研究所展」 坂倉準三から受け継がれる精神

日時：令和 7 年 12 月 12 日(金)、13 日(土) 9 時から 17 時

場所：芝浦工業大学豊洲校舎 「有元史郎記念校友会館交流プラザ」

【シンポジウム】

日時：令和 7 年 12 月 13 日(土) 14 時から 16 時

場所：芝浦工業大学豊洲校舎 「有元史郎記念校友会館交流プラザ」

【懇親会】

日時：令和 7 年 12 月 13 日(土) 16 時半から 18 時

場所：芝浦工業大学豊洲校舎交流棟 2 階 生協カフェテリア

会費：2,000 円

参加希望の方は 11 月 28 日迄に、下記 QR コードにてお申し込み下さいますようお願い申し上げます。





芝浦工業大学 案内図